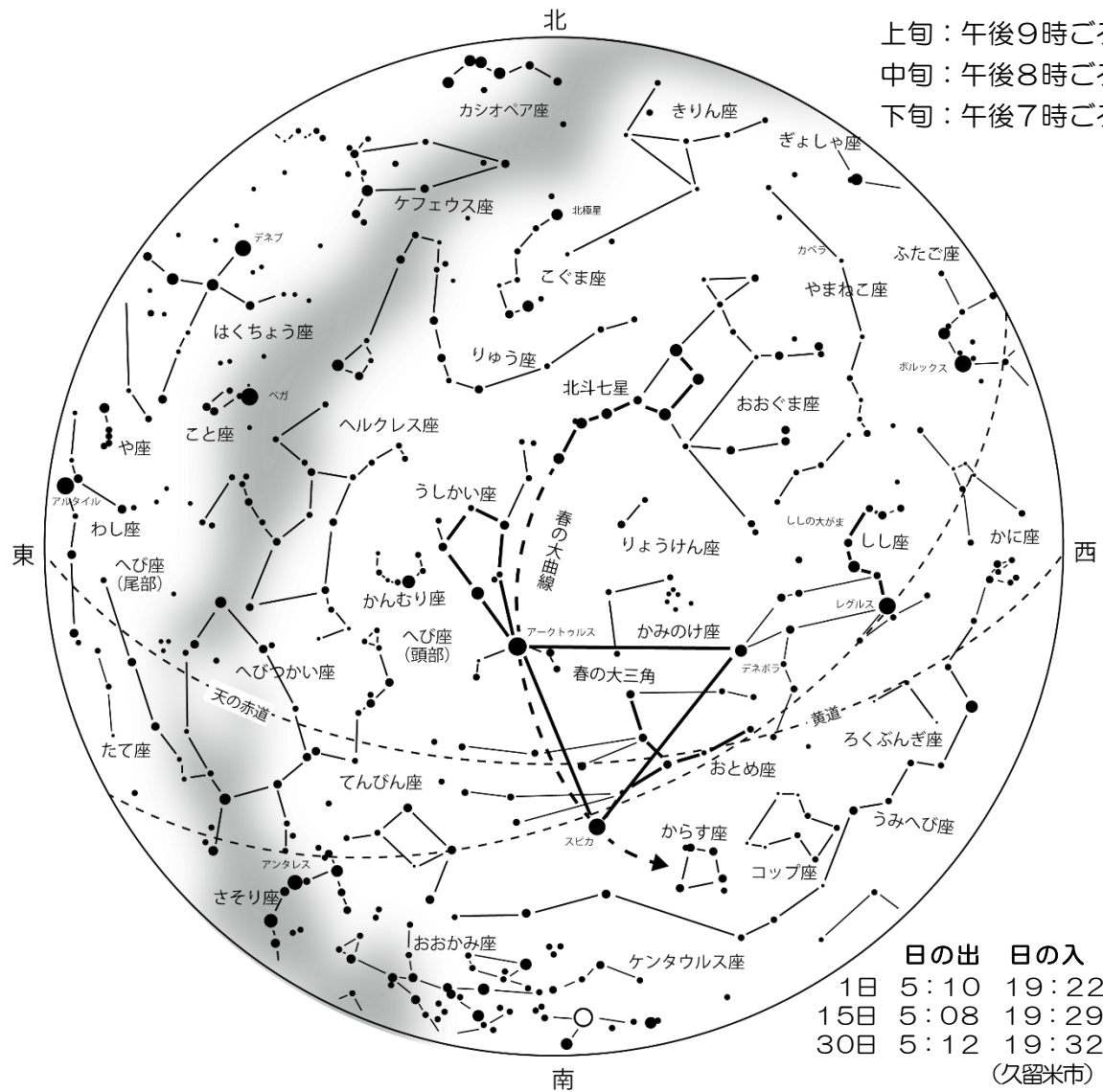


令和4年 6月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ

★6月の星空案内

6月といえば梅雨です。蒸し暑く少し過ごしにくい気候になりますが、夜空にはまだまだ春の星座が見えています。春の星座を見つけるには、まず北の空の7つの星でできる「スプーン」のような星の並び、「北斗七星」を見つけましょう。この「スプーン」の持ち手のカーブを南へのぼしていくと、うしかい座の1等星アークトゥルスやおとめ座の1等星スピカが見つかります。北斗七星からスピカまでのカーブを『春の大曲線』といいます。うしかい座はアークトゥルスから「ネクタイ」をひっくり返したような星の並び、おとめ座はスピカから「アルファベットのyの字」のような星の並びが目印です。『春の大曲線』をスピカからさらにのぼしていくと、からす座が見つかります。からす座は「プリン」のような星の並びが目印です。アークトゥルスの西の方には白っぽく輝くしし座の1等星レグルスが見つかります。しし座はこのレグルスから「?マーク」を裏返したような星の並び『ししの大鎌』が目印です。また、しし座のしっぽの辺りには2等星のデネボラがあります。この2等星のデネボラとアークトゥルス、スピカを結んでできる三角形が『春の大三角』です。

雨の日が多い6月ですが、梅雨の晴れ間には『春の大曲線』と『春の大三角』を目印に春の星座たちを探してみてください。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- 水星(0.5等前後):おうし座付近 観察に適さない。
- 金星(-3.9等前後):おひつじ→おうし座付近 観察に適さない。
- ☆火星(0.6等前後):うお座付近 日の出前、東南東の空で輝く。
- ☆木星(-2.3等前後):うお→くじら座付近 日の出前、東南東の空で明るく輝く。
- ☆土星(0.6等前後):やぎ座付近 日の出前、南南西の空で輝く。

注目の天文現象(6月) ~早起きをして月と二つの惑星を観察しよう~

6月の午前4時の東南東の空には、木星、火星の2つの惑星がならんでいます。6月22日、23日には、この2つの惑星と月が接近します。

まず、6月22日の午前4時には、前日に下弦の月を迎えた月と木星が近づきます。-2.4等の木星は、月の右上で輝いて見えるでしょう。翌日の23日の午後4時には、月と火星が近づきます。0.5等の火星は、木星と比べて穏やかに輝いていますので、月の光に紛れて見えづらくなるかもしれません。さらに、24日の午後4時には木星・火星・月の3つの天体がバランスよく並びます。

今月末は少しだけ早起きをして、月と惑星の並びや見え方の変化を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
7	火	☾ 上弦 (23:48)	21	火	☾ 下弦 (03:43) 夏至 (久留米市の日の出 5:09 日の入り 19:31)
14	火	☉ 満月 (20:52)			
16	木	水星が西方最大離角	29	水	● 新月 (20:30)